

この度は弊社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
据付工事を行う前に必ずお読みください、十分ご理解のうえ正しく施工を行ってくださるようお願い致します。

据付の前に

- 製品がご注文の品と一致しているかご確認下さい。
- 本製品は防振台と高置架台用となります。

用意するもの

- ソケットレンチ(ソケットサイズ：13(M8用), 17(M10用))
 - スパナ
- DP-A〇〇〇タイプはコーキング等もご用意ください。

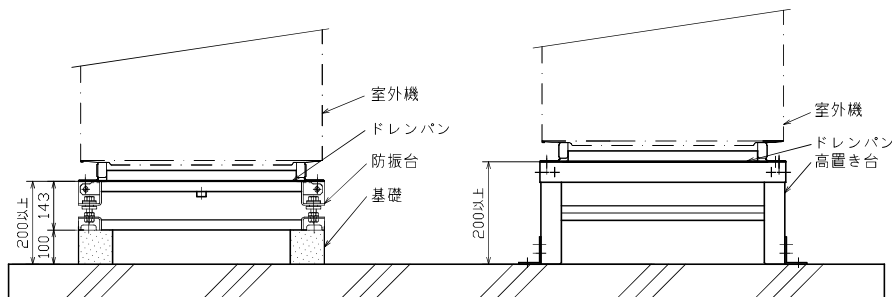
ドレンパンの設置に際して

- ドレンパンを屋内又はドレンパンからの結露水の滴下が問題になる場所に設置する場合、低温ドレン水によりドレンパンが結露する可能性があるため、ドレンパンの底面に断熱材を貼り合わせて結露水の滴下を防いで下さい。又次のような場合にはドレンパン外に水が飛散する可能性があります。
 - ・ドレンパンに水が溜まり、水はねが起る場合。
 - ・強風などでドレン水が吹き上げられる場合。
- 基礎の地上高さは作業性を考慮して200mm以上として下さい。防振台のみではドレン配管の施工ができなくなる可能性があります。[図1]
- 周囲温度が0℃以下になるところでは使用しないで下さい。使用する場合、ドレンパンに凍結防止ヒーターなどを取り付けて下さい。

[図1]

[防振台の場合]

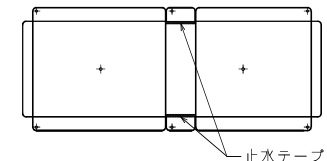
[高置き台の場合]



DP-〇〇〇タイプ：概略作業手順

- 防振台又は高置台付属の取扱説明書に従い、基礎に固定してください。
 - ドレンパンを上架台上へ設置してください。
 - 室外機を設置した後に、防振台又は高置台付属のボルト、ナットにて強固に固定してください。
- ※DP-336Dはドレンパン中央部に止水テープを貼っています。室外機を設置する際は剥がさないように注意下さい。[図2]

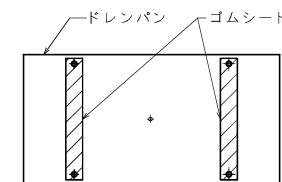
[図2]



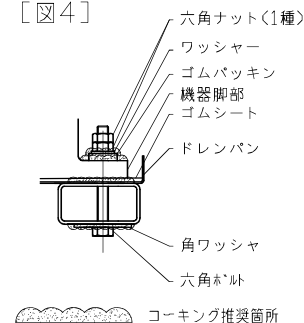
DP-A〇〇〇タイプ：概略作業手順

- 防振台又は高置台付属の取扱説明書に従い、基礎に固定してください。
- ドレンパンを上架台上へ設置してください。
- ドレンパン付属のゴムシートをドレンパン上へ設置してください。[図3]
- 室外機を設置した後に、ドレンパン付属のボルト・ナット・ゴムパッキンにて強固に固定して下さい。[図4]
- 機器取付ボルト周辺は必ずコーキング等を行うようご配慮ください。

[図3]



[図4]



ドレン配管工事

- ドレンパンのドレンソケットはPT 1/2メネジ (SUS製) となっています。配管は1/2オネジ加工で接続して下さい。ホース等を使用する場合は、ホースニップル1/2等にて接続して下さい。いずれもねじ部はシールテープ等で確実にシールを施して下さい。
- ドレン配管施工時は、ドレン配管が必ず1/100以上の下り勾配となるように施工して下さい。[図5]

[図5]

